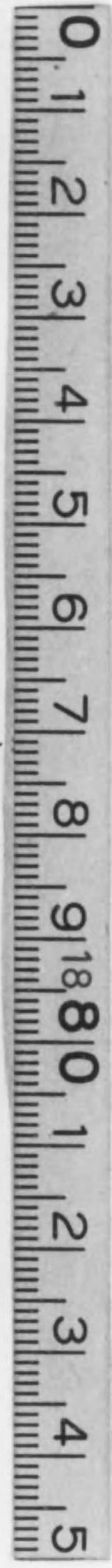


R029. 2-N85ウ



地方關係圖書目錄 第二輯

西宮市立図書館編



始



87

21

和十九年二月

南方關係圖書目錄

第二輯

附、決戰生活に關する圖書

西宮市立圖書館

R  
029.2  
N85

(7)

わが國土の南方は、今や一億の決戰場となつてゐる。——そこはまた、我等が建設の舞台でもある。米英繁滅の精神を昂むると共に、皇國發展の洋々たる前途を思ひ、愛國心を火と燃やすはこの時だ。防空に、増産に、練成に、其

他すべての生活の轉換に、日常の職場こそ、即ち戦場の敢闘精神もて、正しく、明るく、この難局を生き抜かうではないか。



發行所寄贈本

注 意

- 一、本書目ハ昭和十七年十一月以降昭和十九年二月まで出版された書中ヨリ表記關係ノ圖書を抄録セルモノデアル。
- 二、圖書ノ排列其ノ他ハ前輯ニ準ジタ。
- 三、圖書ノ請求ニハ必ず類號ヲ正確ニ記載セラレタイ。但シ濠印ハ館外ヘノ貸出ハ出来ナイ。
- 四、物資不足ノ折柄、本目錄ハ出来ルダケ廣ク活用出来ル様取計ヲシタイ。

概 説  
○南 洋 一 般 附 南 洋 群 島

著 編 者 名  
 ※宇 都 宮 謙 編  
 室 賀 信 夫  
 朝 日 新 聞 社  
 岡 野 繁 藏  
 宮 島 幹 之 助  
 ※南洋事情研究会編  
 飯本信之、佐藤弘編

| 書 名                         | 發行年月           | 發行所     | 類 號    |
|-----------------------------|----------------|---------|--------|
| 大東亞 南 方 大 觀                 | 一七、四           | 日本歴史研究会 | 九九七—四六 |
| 共榮圈 南 方 大 觀                 | 一七、四           | 白 揚 社   | 九九三—八二 |
| 印度支那 佛印、タイ、ビルマ、マレー          | 一七、七           | 朝日新聞社   | 九九七—四五 |
| 南 方 園 要 覽                   | 一七、七           | 錦城出版社   | 九九七—四八 |
| 南洋の生活記録                     | 一七、七           | 人文書院    | 三二四—四五 |
| 熱帯生活の常識                     | 一七、七           | 婦女界社    | 九九三—八五 |
| 南 方 地 名 辭 典                 | 自一七、八<br>至一七、二 | ダイヤモンド社 | 九九七—四〇 |
| 南 洋 地 理 大 系                 |                | (田中啓爾等) |        |
| 第三卷 タイ、佛印                   |                | (佐藤 弘等) |        |
| 第五卷 東印度、舊蘭印                 |                | (飯本信之等) |        |
| 第七卷 印度、セイロン                 |                | (飯本信之等) |        |
| 第八卷 大平洋諸島、濠洲、ニュージランド(佐藤 弘等) |                |         |        |
| 南 方 文 献 目 録                 | 一七、九           | 同 會     | 〇二—八八  |

※日本拓植協會編

073  
211

南方産業調査會編  
石原 廣一郎  
南洋協會編  
※國際日本協會編

南太平洋諸島 一七、九  
南日本の建設 一七、九  
南方の全貌 一七、一〇  
太平洋諸島統計書 一八、三

南進社 九九七—五二  
清水書房 三三九—四三  
湯川弘文社 三三九—四四  
同會 三三二—四五

政治・經濟

東亞政經社編

南方經濟資源總觀 自一七、九  
至一八、八  
第三卷 南方經濟資源開發概論  
第四卷 佛印の經濟資源  
第五卷 タイの經濟資源  
第六卷 マライの經濟資源  
第七卷 ビルマの經濟資源  
第八卷 インドの經濟資源  
第九卷 フイリッピンの經濟資源  
第十二卷 オーストラリア、ニュー  
ジラランドの經濟資源

同社 三四〇—三二六  
(山田 文雄)  
(逸見 重雄)  
(宮原 武雄)  
(大谷 敏治)  
(蒲池 清)  
(伊東 敬)  
(大谷 喜光)  
(金子鷹之助、清川正二)

江澤 讓爾

南方地政論 一八、二

千倉書房 三三〇—二二〇

秋 永 肇

産業・交易

景山 哲夫  
黛村 義夫  
上村 茂夫  
山本 茂夫  
井出季和太編  
淺香 末起  
南洋協會編  
東亞經濟研究所編

南方統治の諸問題 一八、六

日光書院 三三〇—二二一

民族・文化

佛教研究會  
西村 眞次  
海後 勝雄

南方圈の宗教 一七、八  
南方民族誌 一七、八  
東亞民族教育論 一七、八

大東出版社 二〇五—一  
東京堂 九九七—四九  
朝會書店 三七〇—二八八

南洋の共榮圈貿易の將來  
資源と共榮圈 外國爲替講話  
大東亞資源讀本 一七、二  
大東亞化學工業論 一七、二  
南方開發史 一七、二  
南方貿易論 一八、一  
南方圈貿易統計表 一八、二  
共榮圈交易の實証的研究 解説篇 一八、四

八紘閣 三八七—五二  
銀行問題研究会 三八五—九二  
千倉書房 三四二—一五三  
國際日本協會 六八四—一五七  
皇國青年教育協會 九七〇—一七  
千倉書房 三八七—五三  
日本評論社 三三二—四四  
東洋經濟新報社出版部 三八七—五四

|           |              |          |         |
|-----------|--------------|----------|---------|
| 岡部庸三郎     | 熱帯衛生         | 河出書房     | 六二七—八八  |
| 水田信利等     | 南洋の民族上       | 六盟館      | 三四—三五   |
| 龍山章真      | 南方佛教の様態      | 弘文堂      | 三三〇—九七  |
| 金山正好      | 東亞佛教史        | 理想社      | 二三〇—九六  |
| 古川晴男・高島春雄 | 南の動物         | 光風社      | 五八〇—八一  |
| 成田重郎      | 共榮圏の文化 南方の美術 | 二見書房     | 七〇〇—九七  |
| 松原晚香      | 南方の芝居と音楽     | 誠美書閣     | 七九二—一四二 |
| 田邊尚雄      | 大東亞の音楽       | 協和書房     | 七八〇—九七  |
| 小出英男      | 南方民族圖譜       | 國際報道株式會社 | 五九〇—三三  |
| 西澤笛畝      | 南方演・藝記       | わんや書店    | 七九二—一四三 |
| 井出浅亀      | 大東亞玩具史       | 大雅堂      | 六六六—六七  |
| 柴田賢一      | 大東亞史物語       | 朝日新聞社    | 九三〇—五   |
|           | 米英の東亞侵略介譜    | 都書房      | 九三〇—六   |

四

紀行

|                  |                          |          |         |
|------------------|--------------------------|----------|---------|
| 井上彦三郎・鈴木經勳著      | 南島巡航記(明治二十三年田口卯吉一行の南洋紀行) | 大和書店     | 九九七—五〇  |
| 嘉治隆一解説           | 南方紀行                     | 全國書房     | 九九七—六〇  |
| 吉川英治             | メラネシア探險                  | 海洋文化社    | 九九七—六一  |
| 小(埃)ルナチク、フゴ、アドルフ | 赤虫島日誌                    | 八雲書店     | S〇五—一〇  |
| 石川達三             | 流                        | 小山書店     | 九九七—六三  |
| 土方久功             | 律賓                       | 偕成社      | 九八五—二七〇 |
| 野村愛正             | の父太田恭三郎                  | 丸善       | 九九七—五三  |
| 三吉朋十             | 比律賓の土俗                   | 南進社      | 九九七—四七  |
| 南方産業調査會編         | 比律賓の宗教と文化                | 偕成社      | 二〇五—二   |
| 三吉朋十             | ハバワイ史                    | 三省堂      | 九七〇—八   |
| 鬼頭イッコ            | 布哇史ものがたり                 | 東都書籍株式會社 | 九七〇—九   |
| ○ビ               | ルマ                       |          |         |

五

(英)フアーニツアル、J.S.著  
東亞研究所 所譯  
大 場 忠  
日本ビルマ協會編  
東亞研究所編

緬甸の經濟 一七、九  
ビルマの統計書 一七、一〇  
ビルマの農産資源 一七、一一

東亞研究所 三四〇—三五五  
芸 艸 堂 九九三—八九  
國際日本協會 三三二—四二  
丸 善 六三〇—四〇

○ 印 度

龜 尾 松 治  
(印)ボリス、ラスビハリ  
石 井 哲 夫 譯  
脇 山 康 之 助  
南方産業調査會編  
(印)ネール、ジャワハラル著  
松 井 慎 一 譯  
須 田 禎 一  
(印)ボリス、S.チャンドラ著  
田 中 正 明 譯  
(印)ワアイ、P.P.A.、ジョンC.A.  
小 生 第 四 郎 共 著

印度ビルマの展望 一七、四  
印度侵略悲史 一七、六  
現代印度の諸問題 一七、六  
イ ン ド 一七、七  
印度の統一 一七、八  
印度五千年通史 一七、九  
印度の鬭争 一七、一〇  
印度資源論 一七、一一

ジヤパン  
クロニクル社  
毎日新聞社  
映画出版社  
南 進 社  
育生社弘道閣  
白 揚 社  
興亞書房  
聖紀書房

九九三—八一  
九三三—二  
三三〇—二〇七  
九九三—七九  
三二〇—一九六  
九三三—三  
三三〇—二〇六  
三四二—一五一

○ 濠 洲

南方産業調査會編  
(濠)ハリス、H.L.著  
太平洋貿易研究所譯  
妹 尾 詔 夫 譯  
(新西蘭)フアース、R.  
鈴 木 治 譯  
(濠)カーツァー、S.R.、編  
濠 洲 調 査 所 譯  
森 正 三

濠 洲 一七、七  
濠洲の政治經濟構造 一七、八  
ニューギニア探險記 一七、一〇  
ニューギニアの藝術 一八、三  
全濠洲年鑑 一九四〇年版 一八、三  
濠 洲 記 一八、五

南 進 社 九九七—四四  
富 山 房 三三〇—一九七  
博 文 館 九九七—五六  
天理時報社 七〇八—七  
科 學 社 三三三—四六  
大 同 書 院 九九七—六二

○ 東 印 度 諸 島

南方經濟調査會  
(蘭)ヒューレン、エル、フアン  
日本インドネシヤ協會譯  
宮 武 辰 夫

寶 庫 ス マ ト ラ 一七、九  
セ レ ベ ス 一七、一一  
東印度原住民の土俗と藝術 一八、一

立命館出版部 九九七—五五  
帝國産業出版社 九九七—五八  
春 陽 堂 九九七—五九

○ 泰

久 田 原 正 夫  
國際日本協會編  
柳 澤 健

タイ語の研究 一七、九  
泰 國 統 計 書 一七、二  
泰 國 と 日 本 文 化 一八、四

日本出版社 四九〇—三二  
同 會 三三二—四三  
不 二 書 房 三三八—一五九

○佛領印度支那

松本信廣 印度支那の民族と文化 一七、二 岩波 九三四—一  
高橋廣江 筆隨 佛印の旅に思ふ 一七、二 大和書店 九九三—九九二

○馬來

上原訓藏 標準上原マレー語 第一卷 一七、七 晴南社 四九〇—二〇  
西村朝日太郎 馬來編年史研究 一七、八 東亞研究所 九七〇—六  
内藤英雄 マレー新風土記 一七、二 南方出版社 九九七—五七  
神保光太郎 昭南日本學園 一八、八 愛之事業社 三七〇—二九二  
※武富正一 馬來語大辭典 一八、一 旺文社 四九〇—三

決戦生活に関する圖書

||生活は低く、精神は高く||

生活体制

石井良一 戦ふ國の生活 一七、九 六盟館 三〇—九八  
高田保馬 民族耐乏 一七、二 甲鳥書林 三四—二五四  
福田勇 遺兒と共に 一七、〇 大新社 三六〇—七九  
丸山平學 ドイツ防空科學、國民生活 一七、九 相模書房 三六九—二九  
高良富子 大陸の思想戰 一七、九 目黒書店 三六〇—八一  
武田勸治 これからの母、新しい母 一七、二 鮎書房 六九〇—一四  
大日本言論報國會編 日性と戦争生活 一八、三 三教書院 一九六—一九八  
大 川虎三 思想戰の根基 一八、九 船場書店 六九二—一三  
ク 世界觀の戦ひ 一八、九 同盟通信社 〇四二—六〇  
大河内一男編 國民生活の課題 一八、八 日本評論社 三四—二六七



兵事

|       |                                |      |       |         |
|-------|--------------------------------|------|-------|---------|
| 鈴木三男  | 近代戦と偽装                         | 一七、八 | 東和出版社 | 三六九—三六  |
| 和田龜治  | 陸軍魂 <small>日本陸軍はなぜ強いのか</small> | 一七、八 | 東水社   | 三六七—二   |
| 柴田武福  | 国際謀略の話                         | 一七、二 | 青山出版社 | 三三八—一五七 |
| 清閑寺健一 | 江田島                            | 一八、三 | 小學館   | 三六八—三六  |
| 七田今朝一 | 海戦の變貌                          | 一八、三 | 大新社   | 三六八—三九  |
| 山縣昌夫  | 戦争と造船                          | 一八、六 | 三省堂   | 六二八—四六  |
| 喜多村良雄 | 飛行機の研究                         | 一八、九 | 駸々堂   | 六二九—七四  |
| 石井作次郎 | 實際的防空指導                        | 一七、七 | 堀書店   | 三六九—二七  |
| 東健一   | 防空の化學                          | 一七、九 | 河出書房  | 三六九—一八  |
| 田村綱太  | 防空の知識と救護                       | 一七、二 | 博文館   | 三六九—三二  |
| 三好益來等 | 戦時下傷者救急法                       | 一八、八 | 日本書房  | 三六九—三三  |
| 中井清治郎 | 轉廢業者の進路                        | 一七、八 | 陽文社   | 三七—三八   |

防空

經濟・産業

|       |                               |       |         |        |
|-------|-------------------------------|-------|---------|--------|
| 林久吉   | 配給論                           | 一七、九  | 文雅堂     | 三六六—五五 |
| 松本信次  | 配給經濟學入門 <small>新商業學研究</small> | 一七、二〇 | 千倉書房    | 三六六—五六 |
| 坂田武雄  | 小賣商整備の實際                      | 一七、二一 | 協同公社出版部 | 三八一—四〇 |
| 吉田政雄  | 轉業へ生きる道                       | 一八、一  | 婦女界社    | 三七—四一  |
| 井關純   | 隣組配給の知識                       | 一八、二  | 同文館     | 三八六—五七 |
| 山崎早市等 | 生産増強の方策                       | 一八、六  | 日光書院    | 三三〇—三二 |
| 中出榮三  | 木造船の話                         | 一八、九  | 亞細亞書房   | 六二七—二  |
| 中根良介  | 石油、近代戦、内燃機關                   | 一七、二  | 海と空社    | 三六一—三四 |

勤勞

|         |           |       |       |        |
|---------|-----------|-------|-------|--------|
| 乘富丈夫    | 徵用勞務管理    | 一七、二〇 | 東洋書館  | 三四—三五〇 |
| 秋葉保廣    | われらの生活と法律 | 一七、二  | 〃     | 三四—三五五 |
| 佐々木能理三男 | 産業青年の書    | 一八、一  | 健文社   | 三四—三六二 |
| 田中舜一    | 働く者の生活設計  | 一八、六  | 東洋書館  | 三四—三六四 |
| 鈴木木舜一   | 全模範工場視察記  | 一八、九  | 霞ヶ關書房 | 六二—四三  |

鍊成

三橋秀三 劍道修練 一七八 西東社 七九六—三  
 小田三都男 學校滑空訓練の基礎 一七八 三國書房 三七三—二九  
 淺川正一 國民繩とび運動 一八三 西東社 三七二—三五  
 江尻容一 子供とからだの鍛へ方子を持つ親のために 一八一 光生館 三七九—三八  
 江口卯吉 銃劍術 一八三 國防武道協會 七九六—三七

保健・衛生

竹廣登 体位ビタミンの科學 一七八 文見書院 六七—八九  
 山本康裕 乳幼児の醫學 一七〇 昭和書房 六九六—六五  
 高橋みち 乳幼児の養護 一七二 朝日新聞社 六六—一四  
 南崎雄七 一日の保健生活の營み方 一七二 教材社 六七—九三  
 深山杲 保健厚生 一七三 明治書房 六七—九四  
 山崎清 齒と民衆文化 一八一 天佑書房 六五—九  
 山田真三 ビタミンと生活 一八八 誠美書閣 六七—九五

衣・食・住

東方籌 非常食糧の研究 一七九 東洋書館 六三九—二  
 宮島久 物の活かし方 一七九 昭和書房 六九—一二  
 大政翼賛會文化部編 新生活と服飾 一七九 翼賛圖書判行會 六九二—三〇  
 近藤とし子 働く女性の食生活 一七九 協和書房 三四—三五  
 服部七朗 營養料の調理 一七二 増進堂 六九三—五三  
 永井威三郎 日本本の米 一八一 大日本雄辯會講談社 六三八—一五  
 野崎信夫 わが家の園藝 一八四 遠藤書店 六四〇—一八  
 日本放送協會編 家庭に於ける野菜の作り方秘訣 一七八 遠藤書店 六四—一八  
 永島信子 戦時下の更生裁縫 一八七 同會 六九二—三四  
 森川規矩 和服早縫法と乙型標準服 一八八 大雅堂 六九二—三五  
 井上重治郎 共同炊事の運営 一八九 伊藤文信堂 六三—一五〇  
 西村辰次郎編 空地へ我家ノ農園ニ十五坪までの住宅圖案集  
戦時下勤勞者住宅圖案集 一八九 中島日進堂 六四—一九  
 住宅改良會 一八九 住宅改良會 七二—一八

文化

973  
211

守本 伊藤 田中 上田 田村 生田 原田 大日本言論報國會  
 守雄 朔雄 喜菊 正二 木二 花世 實

勝利への道 ドイツ青年教育の實際 一七一  
 移動演劇 十講 一七九  
 現代讀書法 現代人は如何に讀むべきか 一七九  
 これからの新聞 戦時下の新聞の心構へ 一八一  
 戦ふ 俳句 一八四  
 戦時女性文範 一八七  
 勉學について (青年のために) 一七七  
 國家と文化 一八九

朝日新聞社 三七八—六四  
 健文社 七九二—一三〇  
 柘谷書院 〇六—八  
 綜文社 〇五—一三四  
 三省堂 八二五—一三二  
 愛讀社 八一五—五二  
 昭和書房 一九六—一九七  
 同盟通信社 〇四二—五九

昭和十九年四月十日發行

【非賣品】

發行所 西宮市立圖書館  
西宮市六湛寺町八六 電話四宮一八九番  
 印刷所 山本印刷所  
西宮市濱松原町二二  
 印刷人 山本和男

(西三三五三)

守本 伊藤 田中 上田 田村 原生 大日本言論報國會  
 雄朔 喜菊 正二 木花 世實

勝利への道 ドイツ青年教育の實際 一七、一  
 移動演劇 十講 一七、九  
 現代讀書法 現代人は如何に讀むべきか 一八、一  
 これからの新聞 戦時下の新聞人の心構へ 一八、四  
 戦時女性文範 青年のために 一七、七  
 勉學について 青年のために 一八、九  
 國家と文化

朝日新聞社 三七八—六四  
 健文社 七九三—一三〇  
 柘谷書院 〇二六—八  
 綜文社 〇五二—三四  
 三省堂 八二五—一三二  
 愛讀社 八二五—一五二  
 昭和書房 一九六—一九七  
 同盟通信社 〇四二—五九

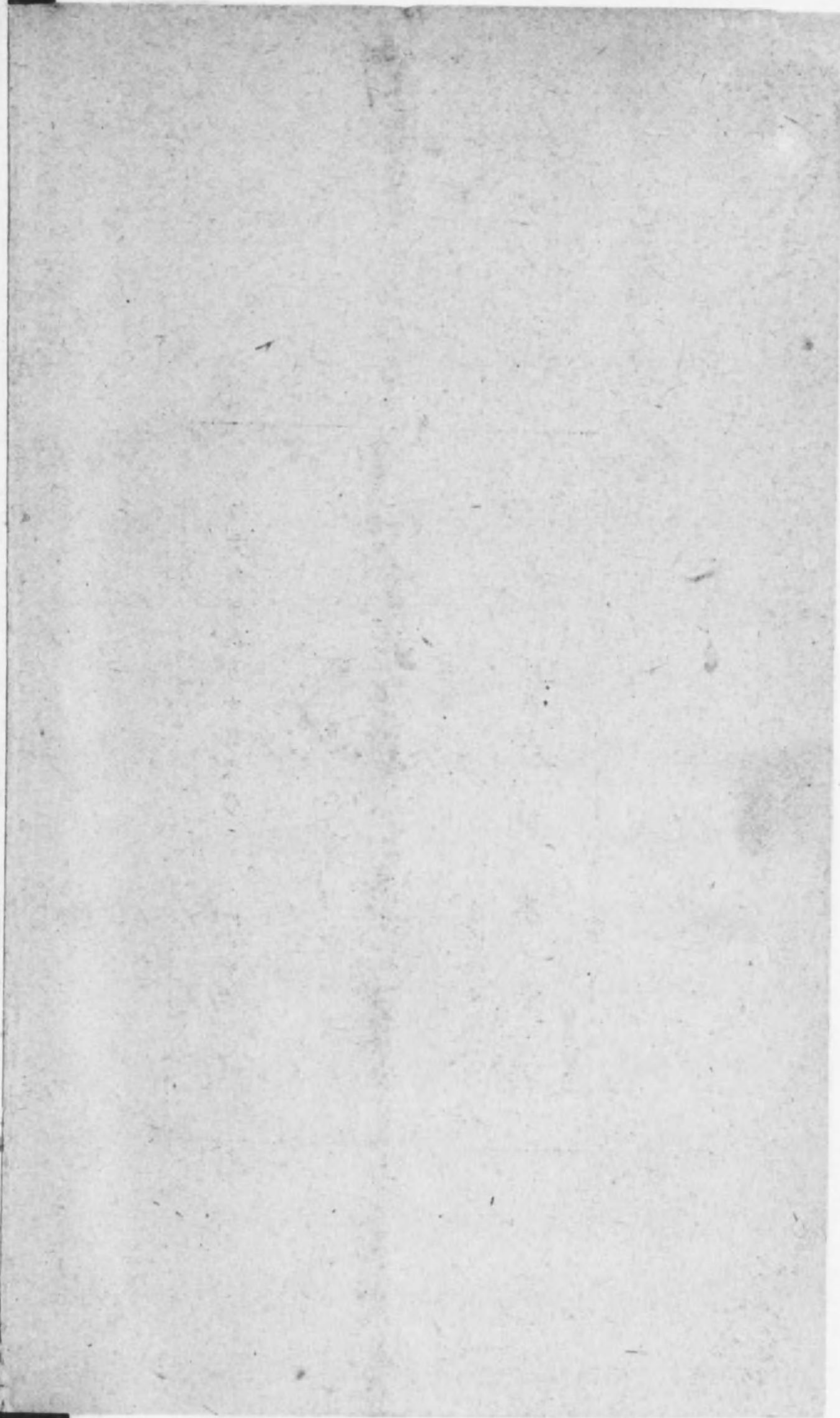
製本控 同第 號

973 函 211 號 年 月 日  
 書名 南方關係圖書目録 中之輯 )  
 著者 西宮市立図書館  
 受入 19年 5月 23日  
 備電

973  
 211

(製本用紙)

029.2  
N.S.  
M



終